平成23年度　施策達成度評価シート（平成22年度実績評価）

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
4	共に生き未来を創る教育・文化	41	将来を担う次世代の育成

施策主管部	教育委員会	評価者（施策統括マネージャー）名	萬　明夫

1　施策の目的（目指す姿）

対象 （誰を，何を対象としているのか）	意図 （この施策により対象をどのように変えるのか）
幼児、児童、生徒、青少年、教職員	知力・体力・豊かな人間性が身につく

2　達成度

（1）成果指標

指標名	単位	指標の性格	H21実績値	H22年度計画（年度目標値）	H22実績値	H23計画（年度目標値）	H26計画（最終目標値）
小中学校学力検査の全国水準(100)との比較（小学校4年生・国語）	ポイント	↗	110.4	110.8	109.4	111.1	112.0
小中学校学力検査の全国水準(100)との比較（小学校4年生・算数）	ポイント	↗	108.0	109.2	108.0	109.9	112.0
小中学校学力検査の全国水準(100)との比較（中学校2年生・国語）	ポイント	↗	109.6	110.4	108.0	110.8	112.0
小中学校学力検査の全国水準(100)との比較（中学校2年生・数学）	ポイント	↗	100.6	104.5	101.8	105.3	108.0
問題行動調査(不登校)の出現率（小学校）	ポイント	↘	0.23	0.32	0.17	0.31	0.31
問題行動調査(不登校)の出現率（中学校）	ポイント	↘	2.31	2.65	2.54	2.64	2.64
体力運動能力(走・跳・投)の全国水準との比較（全国水準を上回っている種目の数・小学校）	種目	↗	47	38	49	38	38
体力運動能力(走・跳・投)の全国水準との比較（全国水準を上回っている種目の数・中学校）	種目	↗	40	41	41	43	48

（2）近隣自治体との成果水準比較

指標名	他自治体の状況等
小中学校学力検査の全国水準(100)との比較（小学校4年生・国語）	比較適性なし・データなし
小中学校学力検査の全国水準(100)との比較（小学校4年生・算数）	比較適性なし・データなし
小中学校学力検査の全国水準(100)との比較（中学校2年生・国語）	比較適性なし・データなし
小中学校学力検査の全国水準(100)との比較（中学校2年生・数学）	比較適性なし・データなし
問題行動調査(不登校)の出現率（小学校）	比較適性なし・データなし
問題行動調査(不登校)の出現率（中学校）	比較適性なし・データなし
体力運動能力(走・跳・投)の全国水準との比較（全国水準を上回っている種目の数・小学校）	データなし
体力運動能力(走・跳・投)の全国水準との比較（全国水準を上回っている種目の数・中学校）	データなし

３ 達成度評価結果

取組内容と成果，成果を得られた要因	学力向上については，「学力向上プロジェクト」による各学校での取組，指導主事による学校訪問指導等教員の指導力向上のための諸事業，少人数指導に係る教員の加配，特別支援教育支援員の配置，標準学力検査の実施と結果の分析等の取組を行った。その結果，目標値にきわめて近い値となった。また，5段階による度数分布では，小学校においては4の段階が多くなり，中学校においては3の段階を頂点とした正規分布の状態となっている。 豊かな心の育成については，各学校における道徳教育・先人教育の推進，学校・家庭・地域が連携して「読書活動」「体験活動」「生活習慣の確立」の充実を図る教育振興運動の推進，問題行動等の未然防止，早期発見・早期対応のための適応指導の推進などにより，豊かな心の成果指標である不登校児童生徒の出現率を減らすことができた。 体力運動能力の向上については，スポーツテストによる実態把握と重点の明確化，県教委と共催した小学校体育実技講習会の実施，指導者派遣事業などによる教科体育の指導の充実，外遊びの奨励や業間運動の実施，中学校における運動部活動の充実などにより，小学校においては96種目中49種目で，中学校においては48種目中41種目で全国平均を上回ることができた。 市立高等学校では，文武両道の生徒指導を基本に，県内唯一の市立高校として特色ある校風の創出に努め，平成16年度から推薦入試を実施したほか，特別進学コースの設置等による教育改革に着手し，進学率の向上とクラブ活動強化を重点目標として，市立高校生として誇りと自信が持てる生徒を育成してきた。平成22年度末における成果指標は，進学・就職進路達成率は96.6％，国公立大学合格者数は34名となっており，進学及び就職については入学目的の明確な生徒に対する意図的かつ計画的な指導の積み重ねとPTA及び地域の支援により，目標値はおおむね達成された。また，新体力テストの全国水準との比較では，運動部活動の活性化を図るとともに，体育の授業や校内行事を通した計画的かつ継続的な体力づくりの取組により，男子生徒は5.14ポイント増，女子生徒は4.01ポイント全国平均を上回った。不登校の発生率は，スクールカウンセラーとの連携を図り，クラス担任と生徒指導主事をはじめとした全教職員で継続的な校内指導に取り組んだものの，1.46％と前年と同様目標値を上回った。 教職員の指導力の向上については，県教委による5年研修・10年研修のほかに，学校教育課題について具体的かつ実践的な解決を図るため，教育研究所で「公開講座」を長期休業中（夏・冬）に開設している。平成22年度は，3日間で36講座を開設し，参加者は延べ671名であった。このほかに，初任者研修，経験2年経過研修会，先人教育研修会，養護教諭研修会及び教育研究所研究発表大会を実施している。これらの研修を受講したことが，教員としての使命感の高揚や指導力・授業力の向上につながってきている。 学校施設については，繋小学校屋内運動場・給食棟及び城東中学校校舎を改築したほか，厨川小学校校舎（太陽光発電パネル整備を含む。）及び下橋中学校校舎の耐震補強工事を実施し，耐震化を図った。また,エコスクールへの取組として，都南東小学校，松園小学校及び飯岡中学校に地上設置型太陽光発電パネルを設置した。維持管理については，築21年以上の小中学校が約75％を占め，老朽化が著しいことから，積極的に校舎等の修繕を実施した。 児童・青少年の健全育成については，市教育委員会としては，小学校，中学校及び高等学校それぞれの生徒指導連絡協議会を構成団体として「盛岡地域生徒指導研究推進協議会」を組織し，関係機関と連携を図りながら，取組を進めている。現在，警察，少年センター，県福祉総合相談センター等の関係者を招きながら，年4回の会議を開催し，携帯電話やインターネットなど，青少年を取り巻く諸問題について講話を行うなど話題提供をしながら，情報交換及び協議を行っており，参加者は延べ500名を超えている。その結果，問題行動の予防や組織立った対応，関係機関と連携した対応が充実してきている。
翌年度以降の課題，その要因	学力向上については，中学校の数学及び英語の学力を向上させることが課題である。特に，両教科とも5段階による度数分布にばらつきが大きいことから，少人数指導やチームティーチング，学習支援員の配置などより，個に応じたきめ細かな指導を推進し，底上げを図る必要がある。また，これまでの「学力向上プロジェクト」の取組を継続して実施することや，担当教員の指導力向上を目的とした各学校の「教科部会経営支援」をしていく必要がある。また，学校において児童生徒の家庭学習の内容や方法を指導するとともに，家庭におけるテレビ等の視聴時間の短縮についての取組など学力向上の基礎となる基本的な生活習慣や家庭学習習慣の確立を図っていく必要がある。 豊かな心の育成については，道徳教育・先人教育の一層の充実，学校・家庭・地域が連携して児童生徒の健全育成に取り組む教育振興運動の一層の充実，問題行動等に対して学校全体での情報の共有化や教育相談体制の整備などの学校適応指導の一層の充実を図っていく必要がある。また，問題行動等への未然防止対策として，早期発見や早期対応の徹底，中1ギャップや中2での増加傾向の解消に向けた学校間，学年間でのきめ細かな引継ぎを行うとともに，学級経営・学級集団作りの研修などを通して，児童生徒一人一人にしっかり向き合うことのできる教員の指導力の向上を図っていく必要がある。 体力運動能力については，スポーツテストの奨励，指導者の派遣による実技指導，教員へのステップアップ講習会の実施などにより，学校における体育や健康に関する指導を充実させ，運動に親しむ態度の育成を図っていく必要がある。また，「早寝早起き朝ごはん」など，家庭や地域と連携した取組により生活習慣の確立を図っていく必要がある。 市立幼稚園における幼児教育については，幼児教育振興プログラムを基に，今後の幼児教育の在り方を検討していくとともに，幼稚園教諭に対しての研修を実施し，指導力の向上を図っていく必要がある。 市立高等学校については，国公立大合格者数が増加したほか，進学・就職進路達成率は，ほぼ目標値を達成していることから，この状況を維持していく必要があり，さらに，生徒の第一希望の進路達成に向けての指導が課題である。現在，「市立高等学校教育改革基本方針」に基づき改革を進めているが，その成果と課題を検証して，市立高校としての特色を十分生かし，県立高等学校整備計画も視野に入れながら，より魅力ある学校となるよう新たな計画を策定し，一層の改革を進める必要がある。 教職員の指導力の向上については，これまで，成果指標が「学校公開研究会の参加者数」となっていたが，学校公開の数により参加者数に大きく違いがでることから，平成22年度事業から「教育研究所公開講座の参加者数」「公開講座の参加者のアンケート調査による満足度」を成果指標として加えることとした。「公開講座」で開設する講座については，新学習指導要領の全面実施（平成23年度小学校・平成24年度中学校）に向けて，現在の学校教育が抱える課題の解決に資するような内容を取り上げていくとともに,今日的な教育課題，教職員のニーズに応じて講座の内容や方法の改善を行い，実践的指導力の向上や修養に資する研修にしていくことが課題である。また，アンケートの「研修について感想や要望等」欄（自由記載）からも，研修の状況について具体的に把握し，工夫・改善を加えながら事業を展開していく必要がある。 学校施設については，計画的な維持補修に努めるとともに，耐震化率を向上させるため，予算と人員の確保に努めるほか，第2次耐震診断により効率的かつ効果的な工法を選択し，平成23年度に策定する耐震補強計画に基づき耐震化を推進する。その中でも，第2次耐震診断でIs値0.3未満の建物が判明した場合の対応（予算措置から工事実施まで）を急ぐ必要がある。 「盛岡地域生徒指導研究推進協議会」における情報提供及び協議については，小学校，中学校及び高等学校の児童生徒の発達段階を考慮しながら，携帯電話やインターネットに関することなど内容を検討していく必要がある。各会議において情報交換及び協議を行っているが，参加者が多いこともあり，協議の時間が十分に取れていない状況にある。協議の持ち方等を工夫改善していく必要がある。また，中学校区ごとでの連絡協議会による情報の共有，合同巡回指導，ボランティア活動など連携した活動を充実させていきたい。今後においても，「児童・青少年の健全育成」に係る事務事業の主管課である市民部市民活動推進課と連携を図りながら，事業を推進していきたい。

平成23年度　施策達成度評価シート（平成22度実績評価・基本事業の状況）

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
4	共に生き未来を創る教育・文化	41	将来を担う次世代の育成

基本事業	
コード	名称
411	幼稚園・小中学校教育の充実

施策主管部	教育委員会	評価者（施策統括マネージャー）名	萬　明夫

1　基本事業の目的（目指す姿）

対象 （誰を，何を対象としているのか）	意図 （この施策により対象をどのように変えるのか）
幼児・小中学生	学力の向上が図られる 心身共に健全育成が図られる

2　成果指標

指標名	単位	指標の性格	H21実績値	H22年度計画（年度目標値）	H22実績値	H23計画（年度目標値）	H26計画（最終目標値）
小中学校学力検査の全国水準(100)との比較（小学校4年生・国語）	ポイント	↗	110.4	110.8	109.4	111.1	112.0
小中学校学力検査の全国水準(100)との比較（小学校4年生・算数）	ポイント	↗	108.0	109.2	108.0	109.9	112.0
小中学校学力検査の全国水準(100)との比較（中学校2年生・国語）	ポイント	↗	109.6	110.4	108.0	110.8	112.0
小中学校学力検査の全国水準(100)との比較（中学校2年生・数学）	ポイント	↗	100.6	104.5	101.8	105.3	108.0
問題行動調査(不登校)の出現率（小学校）	ポイント	↘	0.23	0.32	0.17	0.31	0.31
問題行動調査(不登校)の出現率（中学校）	ポイント	↘	2.31	2.65	2.54	2.64	2.64
体力運動能力(走・跳・投)の全国水準との比較（全国水準を上回っている種目の数・小学校）	種目	↗	47	38	49	38	38
体力運動能力(走・跳・投)の全国水準との比較（全国水準を上回っている種目の数・中学校）	種目	↗	40	41	41	43	48
体力運動能力調査の全国水準(100)との比較（小学校5年生・男子）	ポイント	↗	101.6	101.0	100.4	101.1	102.0
体力運動能力調査の全国水準(100)との比較（小学校5年生・女子）	ポイント	↗	102.8	102.0	102.8	102.1	103.0
体力運動能力調査の全国水準(100)との比較（中学校2年生・男子）	ポイント	↗	109.2	109.0	111.2	109.0	109.0
体力運動能力調査の全国水準(100)との比較（中学校2年生・女子）	ポイント	↗	108.8	103.0	102.8	103.1	104.0

平成23年度　施策達成度評価シート（平成22度実績評価・基本事業の状況）

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
4	共に生き未来を創る教育・文化	41	将来を担う次世代の育成

基本事業	
コード	名称
412	高等学校教育の充実

施策主管部	教育委員会	評価者（施策統括マネージャー）名	萬　明夫

1　基本事業の目的（目指す姿）

対象 （誰を，何を対象としているのか）	意図 （この施策により対象をどのように変えるのか）
高校生	学力の向上が図られる 心身共に健全育成が図られる

2　成果指標

指標名	単位	指標の性格	H21実績値	H22年度計画 （年度目標値）	H22実績値	H23計画 （年度目標値）	H26計画 （最終目標値）
進学・就職進路達成率	%	↗	95.50	98.00	96.60	98.00	98.00
国公立大合格者数	人	↗	28	30	34	50	30
文科省新体力テストの全国水準との比較 （得点平均値の差・男子）	ポイント	↗	2.60	3.70	5.14	5.20	5.20
文科省新体力テストの全国水準との比較 （得点平均値の差・女子）	ポイント	↗	2.94	3.10	4.01	4.10	4.10
不登校発生率	%	↘	1.46	0.80	1.46	0.80	0.80

平成23年度　施策達成度評価シート（平成22度実績評価・基本事業の状況）

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
4	共に生き未来を創る教育・文化	41	将来を担う次世代の育成

基本事業	
コード	名称
413	教職員研修の充実

施策主管部	教育委員会	評価者（施策統括マネージャー）名	萬　明夫

1　基本事業の目的（目指す姿）

対象 （誰を，何を対象としているのか）	意図 （この施策により対象をどのように変えるのか）
教員	誠実公正で，かつ指導力が向上されている

2　成果指標

指標名	単位	指標の性格	H21実績値	H22年度計画 （年度目標値）	H22実績値	H23計画 （年度目標値）	H26計画 （最終目標値）
学校公開研究会参加者数	人	↗	2,920	1,650	2,571	1,650	1,650
教育研究所公開講座参加者数	人	↗	1,374	1,100	1,215	1,100	1,100
公開講座参加者の満足度	%	↗	95.00	97.00	92.00	95.00	97.00

平成23年度　施策達成度評価シート（平成22度実績評価・基本事業の状況）

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
4	共に生き未来を創る教育・文化	41	将来を担う次世代の育成

基本事業	
コード	名称
414	学校施設の充実

施策主管部	教育委員会	評価者（施策統括マネージャー）名	萬　明夫

1　基本事業の目的（目指す姿）

対象 （誰を，何を対象としているのか）	意図 （この施策により対象をどのように変えるのか）
学校施設等	良好に保たれている

2　成果指標

指標名	単位	指標の性格	H21実績値	H22年度計画 （年度目標値）	H22実績値	H23計画 （年度目標値）	H26計画 （最終目標値）
耐震化率	%	↗	66.20	70.00	69.97	71.13	75.00
耐震化が終了した小中学校数	施設	↗	25	30	29	29	30
Is値0.3未満の建物	棟	↘	15	7	9	8	0

平成23年度　施策達成度評価シート（平成22度実績評価・基本事業の状況）

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
4	共に生き未来を創る教育・文化	41	将来を担う次世代の育成

基本事業	
コード	名称
415	児童・青少年の健全育成

施策主管部	教育委員会	評価者（施策統括マネージャー）名	萬　明夫

1　基本事業の目的（目指す姿）

対象 （誰を，何を対象としているのか）	意図 （この施策により対象をどのように変えるのか）
幼児 小中学生 高校生	健全育成が図られる。

2　成果指標

指標名	単位	指標の性格	H21実績値	H22年度計画 （年度目標値）	H22実績値	H23計画 （年度目標値）	H26計画 （最終目標値）
補導件数	人	↘	76	150	68	150	150
刑法犯少年件数	人	↘	247	282	177	282	282